

全国保育実践交流会ニュース（北埼玉） 2018年7月号



はじめまして！！

5月30日、2018年度年長児の第1回目の交流が行われました。

第2さくら保育園のホールに集まったのは、11園185人の子どもたちです。広い園庭の、ダイナミックな泥山、大きな樹、大きなタイヤとあちらこちらでうれしそうに遊んでいた子どもたちは、「あまがえるのうた」のピアノが聞こえてくると一斉にホールに集まって来ました。

「なに保育園の子どもたちか紹介してもらえますか？」の声掛けに、サッと手を挙げた子とその仲間たちがみんなの前に出て、「〇〇保育園です！」と教えてくれました。こうして11園の紹介を順番にしてから保育園ごとに座ってリズムを始めました。第1回目は基本のリズムを丁寧に行い、2人組のボート競争では子どもたちもとても楽しそうでした。最後には、「カエルの豆太」や羊シリーズの歌、ドイツの子どもの歌など13曲をみんなで歌いました。

第1回目の交流を終えて（6／7 園長・担任会議）

- ・全園の子どもたちが集まっても狭くなくリズムがやりやすかった（保護者の見学者がいなくて良かった）。
- ・みんなでうたを歌った事が楽しかったのか、交流を終えてから子どもたちが園でよく歌うようになった。
- ・介助をしようと思ったが子どもの様子がわからず手を出し逃してしまっていたが今日の会議で様子がわかった。
- ・お手本の大人のリズムがバラバラだったものもあったが、お手本だからこそ統一した方が良かったと思った。
- ・他園の方にサッと介助してもらえたり、大人の素敵なリズムの姿も見られてとても良かった。
- ・子どもたちは、はじめての事に緊張もしていたが、楽しく過ごせ、とても刺激ももらえたと感じた。
- ・各園の紹介が子どもたちの積極性で進められて良かった。これからも楽しみ。
- ・子どもたちの今の姿を受け止めつつも、とても考えさせられた交流だった。
- ・子どもたちはワクワクした気持ちで参加し、素敵なリズムやカッコイイ姿など子どもたちなりにいろいろ吸収した交流だった。



大きいプールで鯉をつかまえた！！

6月7日、第2さくら保育園に9園の年長児が集まって”鯉つかみ”に挑戦しました。まずはホールで元気に歌をうたい、リズムでからだを動かし、プールに入る前に山口園長が「きんたろう～鯉の滝登りの巻～」の紙芝居を読んでもくれました。滝をのぼる鯉の力強さ、金太郎を背に乗せて泳ぐたくましさに、子どもたちは驚き、瞳を輝かせていました。そして、「今度は自分で鯉を捕まえるぞ！！」とはりきっていました。が、鯉はそんなに簡単には捕まえられるものではありません……。子どもたちの歓声の中、最初は鯉に触ることもできなかったのですが、少しずつ鯉のスピードに慣れてきて触れるようになってきました。そして、一人二人と鯉を抱きかかえるように捕まえ、最後にはどの子も捕まえることができました。

鯉のその後は・・・

保育園ごとに鯉は持ち帰られました。鯉を飼いたいと水槽に離した園や料理をして食べた園など様々です。

第2はちの巣保育園では園長が子どもたちの前で鯉を包丁でさばきました。鯉をさばく前、子どもたちに「自分たちの生命は、たくさんの生命をいただくことでつながっていて、この鯉を全部きれいに食べることが大切だね」と話をしたそうです。おとなも子どもも真剣に生命に向き合った一日だったと話していました。その他にも鯉を料理したくわの実保育園では、理事長さんが10匹もの鯉をさばく間、年長さんだけでなく小さな子どもたちまでじっと見守っていて、お腹から出てきた浮き袋を水の入ったボールに浮かせて見せ、「これがあると上手に泳げるんだって！」と話すとみんな触っていたということです。10匹の鯉は丁寧に骨を取って、鯉の味噌汁にして食べたとのこと。また、さくらんぼ保育園では魚屋のお父さんに教わって鯉の鱗を天日干しにして、油で揚げて食べたそうです。そして、ふきのとう保育園では、鯉を丸ごと油で素揚げして食べたということです（この鯉のあげものがホップステップジャンプくんのお話に出てきますね）。そして、鯉のぼり作りが始まった園もあります。どんな鯉のぼりが出来上がるか楽しみです。

